

経営の合理化を推進
第一回畜産振興大会

畜産振興の長期的な展望のもとに、本町畜産農家の安定した経営をめざして、規模拡大や産地としての育成強化をはかり、第一回大根占町畜産振興大会が一月三十一日大根占中学校講堂で盛大に開かれました。
大会は、なんぐう農業協同組合共催で畜産農家や関係者



- ※ 子牛は一年に一産は確実にとらう。
※ 適正配合で資質の改善をはかる。
※ 子牛せり市時の体重、牡二四〇キロ、去勢二七〇キロ以上になかそう。
※ 肉牛は一日一キロ増体と肉質の改善をはかる。
※ 自給飼料の確保増産に努め、生産費の低減をはかる。
※ 子豚の年二腹生産と産子の増数をはかる。
※ ブロイラーの生産向上への拡大
※ 機能集団の育成強化と組織を通じて更に畜産振興をはかる。



県共出陳の部で表賞をうける受賞者のみなさん

- このあと体験発表が行われ、鳥井戸の村岡昭さんが「養豚について」、鳥浜の赤石光徳さんが「肉用牛生産について」、厚ヶ瀬の渡瀬幸徳さんが「ブロイラーについて」、それぞれ体験を生かした力強い発表がなされ各専門部で、今後いろいろな問題を提起。
つづいて経営共励会入賞者など六部門で四十六人、十四グループが表彰されました。
午後から講師に県畜産会参事の佐久間信郎先生を迎え、「肉用牛の現況と将来について」と題し、畜産農家や関係者に有意義な講演があり、大会を盛会裡に閉じました。
なお、当日の経営共励会入賞者及び表彰者は次のとおりでした。
▽経営共励会の部
子牛（肉用牛五頭以上を飼育し、年間を通じてせり市出場の多い人）
中馬辰己（大尾）小園又雄（神川上）菅浦春己（神川城）永田二三夫（鳥浜）福永四男（神川城）赤石光徳（鳥浜）小川功（大尾）
▽子牛せり市毎最高売上者
（五十年一月から十二月末）
（めす）
園田功（神川中原）木下正己（川南）永山義哉（神川中）岩崎明男（神川新町）段孝夫（川南）黒瀬弘（才原）
（去せい）
中野良雄（中野）宿利原正義（宿利原）半下石広志（半下石）中馬辰己（大尾）今熊義夫（城）家永善二（牧原）
▽肥育牛の部
（肥育牛十頭以上を飼育し、年間を通じて販売頭数の多い人から三人）
笹原修（笹原）尾脇正（鳥浜）城下数夫（六反田）
▽養豚の部
（年間を通じて子豚出荷頭数の多い人から三人）
馬込陸夫（笹原）笹原清信（笹原）毛下清彦（川北）
（年間を通じて肉豚出荷頭数の多い人から三人）
（肉豚）
飯屋清重（大尾）小川一実（笑喜）村岡昭（鳥井戸）
▽ブロイラーの部
（年間生産総トン数の多い人から三人）
渡瀬幸徳（厚ヶ瀬）大園加（川北）大園国義（川北）
（年間販売実績の多い人から三人）
馬込洋海（笹原）大園加（川北）上園重敏（半下石）
▽削てい共励会の部
（振興会主催共励会に参加したチーム）
（秀賞）落河畜産グループ
川北畜産グループ、城畜産グループ
（優等賞）鳥浜畜産グループ
肥育グループ、上ノ宇都肥育グループ
（努力賞）川南畜産グループ
笹原畜産グループ、協和畜産グループ、宿利原畜産グループ、中野畜産グループ、命苦畜産グループ、牧原畜産グループ、丸尾畜産グループ
▽表賞の部（県共出陳者）
（肉用牛及び生産豚を県畜産共進会に出品された人）
大園友二（川北）前野勇（川北）大園与造（川北）押領司悟（川南）牧原幸夫（牧原）岩下ヒデ（山ノ口）段義哉（川南）貴島フヂ（山ノ口）牧原重彦（牧原）中迫栄（中園）上鶴弘（神川上）尾脇正（鳥浜）

たばこは町内で買ひましょう
出張やご旅行にも
町内で買って持って
行きましょう

Table with 5 columns: Date, Household Count, Total Population, Male, Female. Rows show data for March 1st and February 1st, 1976.

国民年金の保険料が改められます

四月から千四百円に

国民年金の保険料が四月から、これまでの「一〇〇円から、四〇〇円に改められます。国民年金は、歳をとったり障害者となったり、あるいは母子世帯になったりしたときに年金を支払って、加入者の生活の安定を図るためのものです。そのために一昨年の春には大幅に年金額が引上げられ、また、一昨年・昨年と二年連続で物価スライドによる増額が行われ、合わせて四一・五%も年金額がふえました。このようなこともあって、

本町で四ヶ町消防訓練

南陽四ヶ町(大根占、根占、佐多、田代)の消防団員約二百人が、二月二十六日本町に



大中グラウンドで
四ヶ町合同訓練

参集し、県消防学校教官の講義と分例行進、操法訓練などの指導をうけました。講義は火災発生事例にもとづいてあり、火災の原因を見ますと、子どもの火遊び、たばこの吸ガラの投げ捨て、ガスコンロ、野焼き等の不始末が主な原因となっています。春先は、空気が乾燥し火災が発生しやすい時期でもあり、次のことに十分注意し身近なところから火災を出さぬよう心がけたいものです。※タバコを投げ捨てたり、置きっぱなしにするのはやめましょう。また、寝たばこの習慣は火事のもとです。※外出時、就寝前にはもう一度火の点検をしましょう。

町青年団惜しくも3位

郡青協駅伝大会

第八回肝付郡青年駅伝大会は、二月十五月初夏を思わせるような暑さの中、午前十時三十分田代町役場前をスタート、本町を午前十一時二十分に通過、東申良役場前の十二区間、五十一、四キロのコースで、本町青年団など七チームが参加し熱戦が展開されました。

コース途中の国道二六九号線の沿道には、本町通過時間の前から、多数の

町婦連協・機関誌「あゆみ五号」を発行

町婦人会(会長川辺タチ、会員九百五十人)では、このほど機関誌「あゆみ五号」ができあがり発行するはこびとなつていきます。

これは、一年間の婦人会活動の歩みを広く関係者に知ってもらうとともに、記録にためこれからの活動の参考にしようとして昭和四十七年度から発行しているもので、川辺会長の「この一年間の協力に感謝する」旨のあいさつ、新福教育長の「町婦人会がやさしさの中に研修と実践活動でたゆまない発展を祈る」という祝辞をはじめ、「町婦連主催行事」「三婦人のつどい発表文」「三公民館講座、スポーツ教室受講感想」「四研修会参加報告」「五随想」「六参考資料」など全二十四ページにもわたるものです。

肝属地区の婦人会で、このような機関誌を発行しているところはなく、県下でもほとんど例がありません。もちろん活動も活発で、本町にとっては青年団と並んで貴重な存在となっています。また、すでに五十一年度の部落役員も決まり、校区役員の改選も順調に行われているようです。

新役員のもとこれから、すばらしい運営がなされることを祈りたいものです。

神川青年団
春植えに備え
鳥浜花壇奉仕作業

昨年の一夏、マリィーゴルドやカンナの花で道行く人々の目を惹きつけてくれた鳥浜花壇……春の植込みを前に神川青年団(団長福元登)二十人が二月十一日の午前中努力奉仕に汗を流しました。

この奉仕作業は、男女団員が力を合わせ、マリィーやカンナの除去、周辺の枯草焼きはもちろ、耕運機まで入れるという本格的なもので最後は文化財(鳥浜の板碑)清掃ま

健闘した町青年団

チームの精鋭12人



笹原修

で行いました。

植込みを待つだけになった鳥浜花壇は、この神川青年団や鳥浜長寿会(会長福留平吉)の手で、やがてマリィーゴルドやカンナが植えられ、夏には目も鮮やかな花がドライバード道行く人々の心を潤してくれることでしょう。

塩屋バレーボール同好会

団体表彰される

塩屋バレーボール同好会(会長黒瀬健郎、会員四十五人)が一月十九日鹿屋市公民館で開かれた郡教育振興大会で団体表彰されました。

この同好会は、本紙ならびに県内紙等で広く紹介されたように、四十九年八月ごろから同部落のチビッコ広場を使って、夜八時になると会員が作業服のままボールを握り、体力づくりをとおして互いの融和を深め公民館づくりに役立っており、その実績が認められ表彰されたものです。

▽振替納税のおすすめ
「振替納税」とは、税金を納めるときに、わざわざ銀行や郵便局へ出かけなくても、電話料やテレビの受信料と同じように、あなたの預金口座から自動的に振替えて納める方法です。

「振替納税」の手続等については、金融機関又は税務署におたずねください。

▽確定申告に誤りがあつたとき
税務署に所得税の確定申告を提出後、間違いに気付いていいると、納税の時期に通知書が届かなかつたり、また解体したり他人に譲ったりした車などの税金まで納めなければならぬといふことになる。

税だより

いたときは、正しい申告に直すことができます。税金を実際より多く払った場合は「更正の請求」でも、所得をもらして実際より少なく申告していた場合は「修正申告」で、それぞれ正しい金額に訂正してください。

これらの用紙は、税務署に用意してあります。



自動車の変更は今年中に

変更は今年中に

自動車の所有者が毎年五月に納めている自動車税は、陸運事務所登録に基いて、その年の四月一日現在の車の所有者に対して課税されることになっています。

そこで、
車を持っている人は、登録の内容に変更が生じた場合は早目に登録変更の手続きを取るよう心がけましょう。いつまでも手続きを取らな

通信制課程の生徒募集

- ▽県立鹿屋島西高等 学校通信制生徒募集 集案内
- ▽入学志願者の受付 期間 三月二十日から四月二十日まで。
- ▽願書の請求 六〇円切手同封の上、学校に請求する。
- ▽学校のあて先
- ▽県立鹿屋島西高等 学校通信制生徒募集 集案内
- ▽入学志願者の受付 期間 三月二十日から四月二十日まで。
- ▽願書の請求 六〇円切手同封の上、学校に請求する。
- ▽学校のあて先

遺産の争いを
防ぐために

「遺言と相続」

鹿屋公証役場から「遺言と相続」と題して、寄稿がありましたのでお知らせします。

戦後の新憲法、新民法によって、いままでの家督相続制度が子どもや妻などすべてで遺産を分配、相続するよう改められました。

最近では遺産の「わけかた」について親族間の紛争が非常に増えてきています。そこで財産を少しでも持っている人は遺言によって、遺産のわけまえをはっきりさせておくことが是非とも必要なことであり、親の責任であるともいえます。

遺言をしておかないと遺産は法律で定められたすべての相続人に、法律で定められたとおりの割合で機械的に分配されてしまいます。そういうことになれば、専業農家や中小企業などの場合、経営の基礎である農地とか店舗、工場など、相続人の数に応じて小さく分割され、経営はなりたたなくなってしまうのです。妻や子どもの生活、立場などを十分考え、親は遺産につ

いて遺言書を作りはつきりさせておいて、遺言書とおりの登記手続きなど、わけかたが簡単にできるようにしておくことと紛争を防ぐこととなります。

相続の遺言は、遺言を受ける一人ひとりの相続人の申請で登記手続きができ、他の相続人（兄弟など）の印かんはいりません。また、遺言は、その後の状況の変化で取消しや変更もできますので遺言者が老後、病気で物価高など生活費を必要とするようになった場合、財産を処分することもでき、遺言者が公証役場へ出向けないときは、公証人が出張して処理することもできます。

遺言公正証書を作成する場合の手数料は、相続人ごとにもらう財産の時価五十万円まで二〇〇〇円、二百万円まで三〇〇〇円、千円円で五〇〇〇円と定められています。

遺産相続に伴う家庭のみにくい争いを予防すると同時に具体的な実情に応じた適正な遺言の分配をするためにも遺言書の作成、ことに公正証書による遺言を利用されるようおすすめします。

なお、鹿屋公証役場は、鹿屋市打馬二丁目三番十五号で裁判所前に設置してあります。

☎〇九九四四（二）三七六七

桜の花もはころび始め、いよいよ春も本番を迎えます。

子どもを交通事故から守りましょう。

「春の全国交通安全運動」

四月六日から十五日まで

注意
の
話題

▼町社協へ

長浜キミエ（三代吉）神二区
中金 栄（スエ）塩屋
大村 敏市（イマ）本町
松元 スミ（幸之助）塩屋
段 良哉（ハツギ）川南
川越 辰己（シモ）大橋上
笑喜 友志（イセミツ）笑喜上
山中 盛秀（盛二）笑喜上
押領司三夫（稔）川南
貴島 フヂ（正清）山ノ口
木下ミツエ（平蔵）瀬戸山
福永 藤彦（フヂ）鳥一區
大山 二男（トヨ）神二区
添田 節（茂吉）旭町
原田 光幸（ソノ）木場
山河 タキ（吉之助）旭町
中村 哲男（ミサ）京町

▼錦江園へ

鳥一區の野元茂弘さんから
金一封
神二區の長浜キミエさんから
金一封

▼すずしろの里へ

塩屋の上杉工さんから
大根
鳥浜の岩元イクさんから
野菜
鹿屋市の西北とみ子さんから
野菜
木場の舞原京子さんから
野菜
鳥浜の岩元定夫さんから
煮干
松坂の中道タミさんから
生椎茸

※チリはきまいった収集日の朝出ししましょう!!

広報紙の謝礼

鹿屋市の幸造寺さんから
みかん
根占町の平瀬戸勉さんから
菓子
鳥浜の岩元定行さんから
菓子
鹿屋市の梅北病院から
金一封
神二區の長浜キミエさんから
金一封
さる二月十八日鹿屋市ボランティア活動の美好会四人が同園を慰問し、歌やエレキ・ギターなどの演奏で入園生のみなさんに大変よろこばれ楽しいひとときをすごしました。



戸籍に関する情報は
ホームページ上では
掲載していません